



ふるさとと富岡 ～263名の第48期卒業生へ～

校長 山我 智康

3年生は、緊急事態宣言下での受験でしたが、全員がそれぞれの時期で無事に高校入試へのチャレンジをすることができました。公立入試が終わって卒業式まで、3年生は特別時間割となり、校外学習や校内での球技大会・講演会等様々な行事に取り組んでいます。

特別時間割は、卒業期のお楽しみだけではありません。義務教育を終えるにあたって必要な最後の授業を行う気持ちでいます。2月19日は、キャリア学習講演会として、富岡中の卒業生である下平製作所の川口社長からお話を聞きました。川口さんは、西富岡小・富岡中・氷取沢高校を卒業後、青山学院大学・アメリカ留学を経て、ご実家の金属加工会社の後を継ぎ、自動車部品製作から航空機・宇宙探査機部品製作まで、会社を建て直して現在に至っています。「はやぶさ2」の部品製作にも携わり、「はやぶさプロジェクトチーム」の一員にもなっています。川口さんの同級生も地元で活躍している方が大勢いて、同窓生で集まることもあるそうです。

24日は、野毛にある「横浜にぎわい座」に行きました。日本の伝統文化である「寄席」について、出囃子や高座の説明を聞き、お二人の芸を鑑賞しました。かつてTVでもよく見た、古典的な曲芸（和傘の上で毬や升、土瓶など回したり、口にくわえた棒の先で土瓶などを回したりする芸）を和服姿のまだ若い芸人が披露してくれました。

25日は、神奈川県警少年相談保護センターの方から「薬物乱用の危険性について」お話を聞きました。説明をしていただいた警部補は、少年犯罪の未然防止のための少年相談に携わっている方です。

義務教育を終える3年生にとっては、少しずつ自分が将来どのような職業につくのかを考える時期となりました。キャリア学習講演会では、川口さんから「何のために働くのか?」「皆さんの将来の夢・職業は?」という質問がありました。今年の263名の卒業生のうち、いずれこの地を離れる人もいるかもしれません。人によっては海外で過ごす人もいることでしょう。この富岡の地に二度と戻ってこない人もいるかもしれません。グローバルな職業に就く人、今回の特別時間割で出会った方のように、この横浜で活躍する人など、様々でしょう。

今年の卒業式3月11日は、東日本大震災の10周年の日です。岩手県・宮城県では、津波で町全体が失われました。福島県双葉郡は福島第一原発の放射線により全町民が避難をしました。ともに復興が進んでいますが、ふるさとに戻れないまま毎年多くの方が亡くなっています。また、戻れても以前と同じふるさとの光景はありません。

横浜や富岡の町も未来永劫に今のままではありません。そもそも「ふるさと」は心の中にあるのです。卒業生である皆さんは、この地で育った思い出が、将来どこで暮らしても「ふるさと」として残ることでしょう。

双葉郡の小中学生は以前6,000人いました。現在、双葉郡富岡町立富岡中学校全校生徒は15名です。福島の富岡中との交流は、このコロナ禍で中断していましたが、3月5日にリモートで交流を行う予定です。本校は生徒数が多いので代表生徒での交流となってしまいますが、ともに富岡という「ふるさとを思う心」を持ち続けてください。

福島富岡中の3年生4名の卒業生と本校263名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

令和2年度 《学校評価に関わるアンケート調査》の結果について

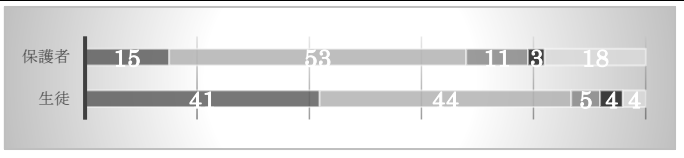
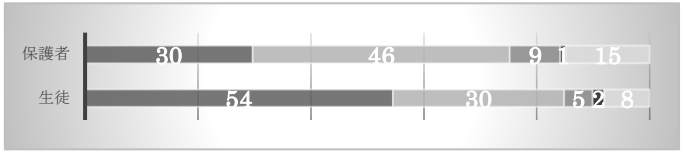
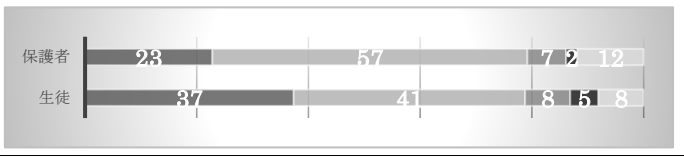
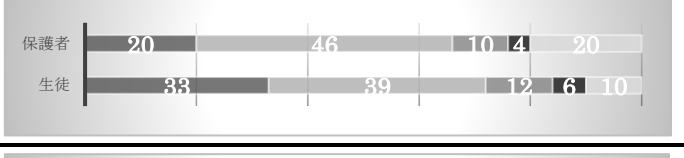
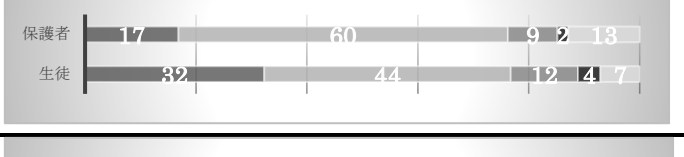
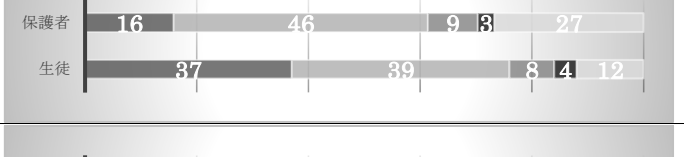
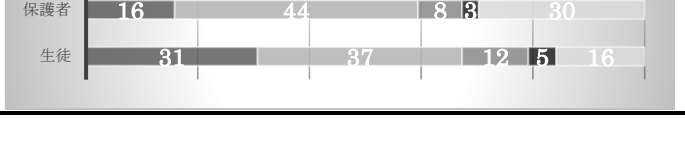
令和2年12月25日に全校生徒対象に行ったアンケート、および令和3年1月7日～令和3年1月14日に全家庭対象に行ったアンケートの集計結果をご報告させていただきます。保護者の皆様方におかれましては、ご多用のところアンケートにご協力いただき感謝申し上げます。

教職員も同様のアンケートに回答し、各部署にて反省・次年度に向けての提言を行なっております。お子様、保護者、教職員からの回答を受け、次年度のより良い学校運営に向け、具体的な方策を立て改善に向けて努めてまいります。引き続き、本校の学校運営へのご協力をお願い申し上げます。

回答率 生徒95%(マークシート) 保護者74%(内訳:WEB78%マークシート 22%) *数値は小数第一位を四捨五入し%表記

■ そう思う ■ 概ねそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない □ よくわからない

| | | |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|
| 学校経営 | 1. (保護者) 学校の教育方針は、説明会などを通じてわかりやすく伝わっている。 (生徒) 富岡中では、安心して生活でき、いろいろなことに挑戦する機会がある。 | <p>保護者: 21, 62, 10, 16 生徒: 37, 48, 8, 25</p> |
| 小中一貫 | 2. (共通) 児童生徒交流日やスポーツ文化交流会など小学校児童との交流が図られている。 | 新型コロナウイルスの影響により今年度は実施せず。 |
| 生きてはたらく知 | 3. (保護者) 生徒にとって主体的、対話的で深い学びのある授業が実践されている。 (生徒) 富岡中の授業は、「じっくり考え 高め合い 次につなげる確かな学び」となっている。 | <p>保護者: 14, 55, 11, 18 生徒: 33, 49, 7, 28</p> |
| | 4. (保護者) 授業を通して生徒が自らの考えを表現する力を身に付けている。 (生徒) 富岡中の授業は、自らの考えを表現する力を身に付ける機会が多い。 | <p>保護者: 16, 53, 15, 14 生徒: 38, 44, 10, 26</p> |
| 豊かな心 | 5. (共通) 互いに認め合い高め合おうとする心情が生徒に育っている。 | <p>保護者: 24, 55, 12, 9 生徒: 32, 45, 11, 8</p> |
| | 6. (共通) 生徒はあいさつをはじめとするコミュニケーションの場面を大切にしている。 | <p>保護者: 27, 54, 12, 6 生徒: 53, 37, 6, 2</p> |
| 健やかな体 | 7. (共通) 基本的な生活習慣を身に付け、健康的な生活を送ることで、生徒は心も体も成長している。 | <p>保護者: 33, 58, 6, 1 生徒: 41, 43, 7, 2</p> |
| | 8. (共通) 体育的行事等を通して体力の向上が図られ、運動することに喜びを感じている。 | <p>保護者: 33, 49, 11, 2 生徒: 51, 34, 7, 3</p> |
| 自分づくり教育 | 9. (保護者) 生徒は自らの生き方を考える力を身に付けている。 (生徒) 富岡中では、自らの生き方を考える力を身に付けられる場面が多い。 | <p>保護者: 16, 56, 18, 9 生徒: 31, 43, 11, 4</p> |
| | 10. (保護者) 富岡中の自分づくり教育(職業講話・職場体験・進路学習・講演会等)は生徒の望ましい職業観の形成に役立っている。(生徒) 自分づくり教育は、将来を考えることに役立っている。 | <p>保護者: 14, 44, 17, 8, 22 生徒: 23, 42, 14, 7, 14</p> |

| | | |
|-------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 特別支援教育 | 11. (保護者) すべての生徒が学習・生活しやすい環境が整っている。 (生徒) 富岡中は、生徒が学習・生活しやすい環境が整っている。 |  |
| | 12. (共通) 放課後などに学習会が行われ、学習への不安を取り除く場がある。 |  |
| 学校運営協議会 (地域連携) | 13. (保護者) 学校は保護者や地域の協力を得ようとしている。 (生徒) 富岡中には、保護者や地域と協力する環境がある。 | 新型コロナウイルスの影響により今年度は実施せず。 |
| | 14. (保護者) 生徒は地域や小学校の行事のボランティア活動に積極的に参加している。(生徒) 富岡中には、地域や小学校の行事のボランティア活動に積極的に参加できる環境がある。 | 新型コロナウイルスの影響により今年度は実施せず。 |
| 生徒理解と 生徒指導 | 15. (保護者) 教育相談が生徒一人ひとりの安心した学校生活の実現に役立っている。 (生徒) 富岡中の年4回の教育相談は、生徒一人ひとりの安心した学校生活の実現に役立っている。 |  |
| | 16. (保護者) 問題の予防、早期発見など、組織的な支援が行われている。 (生徒) 富岡中には、悩みなどを様々な人に相談できる環境がある。 |  |
| 人権教育 | 17. (共通) 生徒が互いに認め合い、安心して自分を表現できる場がある。 |  |
| いじめへの 対応 | 18. (保護者) 様々な取組から、いじめ防止や早期発見に努めている。 (生徒) 富岡中は、道徳やいじめに関するアンケートなどを通していじめ防止や早期発見に努めている。 |  |
| | 19. (保護者) 保護者との連携を深め、個に応じた指導や支援を行っている。 (生徒) 富岡中には、いじめなどで様々な人に相談できる環境がある。 |  |

アンケート結果の分析・考察

【高評価】「そう思う」「概ねそう思う」が80%を超えた項目

保護者・生徒 → 「1.学校経営」「6.あいさつ等コミュニケーション」「7.基本的生活習慣」「8.体育的行事と体力向上」

保護者のみ → 「15.教育相談」

生徒のみ → 「3.授業・確かな学び」「4.表現力」「11.学習・生活環境」「12.放課後の学習会」

【低評価】「あまりそう思わない」「そう思わない」が20%を超えた項目

保護者・生徒 → 「10.自分づくり教育」「16.組織的な生徒理解と生徒指導」

【わからない】「わからない」が20%を超えた項目

保護者のみ → 「10.自分づくり教育」「18.いじめ防止・早期発見」「19.保護者との連携・個に応じた指導」

【任意記述欄】

多数の温かいお言葉をいただき感謝申し上げます。一方で、ご提言として主に「新型コロナウイルスへの対応・コロナ禍における学校からの情報発信について」「学習指導と評価」「部活動指導」についてご指摘をいただきました。

【考察】

昨年度に比較すると、高評価項目の増加、低評価項目の減少が見られ、昨年度の反省・提言が生きた結果となりました。一方で、今年度は新型コロナウイルスの影響で保護者のご来校機会が大きく減少したことで、本校の教育方針、子どもたちの学校での様子が非常に見え辛かったことが課題となりました。次年度はコロナ禍においてもご家庭に安心していただけるよう、学校便りやホームページ、学年通信や学級通信などの利用、また、感染症予防を講じながら学校からの情報発信、情報交換の場を設定するなど、家庭と学校の関係をより「密」にするよう努めてまいります。

